



第112回日本精神神経学会学術総会



市民公開講座

「まっすぐ・こころに届くために」

参加費無料

定員 500 名

第1部

悩む力・こころ

●講演概要

こころは時代の病を映し出すとすれば、現代ほど、時代の病がこころを蝕んでいる時代はないかもしれません。第一次世界大戦後の精神的なアナーキーのもと、作家トーマス・マンは、20世紀の不朽の名作『魔の山』の中で時代が病み、何のために生きるのかという問いに社会が答えられない時、最も懊悩せざるをえないのは、若い青年たちだと述べています。

経済的な格差が固定、反復され、「希望格差」さえ話題にのぼる現在、悩みは深まり、個人の無力感が広がるとともに、こころの深い部分で病んだ人や、漠然としど不安や焦燥に駆られた人が増え、それが時には激しい憎しみや排斥の感情となって逆噴射することがあるようです。いったいこのような時代の中で人は、どうすればこころの平穏と安寧をつくりだすことができるのでしょうか。

講演ではいまから百年ほど前、こうしたこころのありかを、小説という、近代的な表現形式で深掘りし、不朽の名作を残した夏目漱石を手がかりに考えてみたいと思います。



©今村拓馬

姜 尚中 (カン・サンジュン)

1950年、熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学準教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授、聖学院大学学長などを経て、現在東京大学名誉教授。2016年1月より熊本県立劇場館長兼理事長に就任。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『ナショナリズム』、『東北アジア共同の家をめざして』、『増補版 日朝関係の克服』、『在日』、『姜尚中の政治学入門』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『あなたは誰?私はここにいる』、『心の力』、『悪の力』、『君に伝えたいこと』など。共著に『グローバル化の遠近法』、『ナショナリズムの克服』、『民主主義の冒険』、『戦争の世紀を超えて』、『大日本・満州帝国の遺産』など。編著に『在日一世の記憶』など。小説『母-オモニー』、『心』を刊行。最新刊は『漱石のこぼれ』。

第2部

日常の中から 非日常をみつけよう

●講演概要

僕はよく散歩をします。街を歩けばいつもの風景の中に色々な発見があります。しかし多くの方はそれに気づかないまま通り過ぎてしまいます。それは勿体ない。いつもよりゆっくり歩いて、何かを見つけてみませんか?

キン・シオタニ

イラストレーター。学生時代は貧乏旅行にあけくれる。95年に発売された「長い題名シリーズ」のポストカードで注目され、以降、テレビ、広告、雑誌など多くのメディアにイラストや文章を提供。近年はドローイングシアターという独特のパフォーマンスを国内外で行っている。主な著書に「人生という限りの時間のなかから永遠を見つけようとする青年」、「生まれたついでに生きる」など。現在、自身が出演する旅番組「キンシオ」をtvkほかでオンエア中。



トークショー

姜 尚中 × キン・シオタニ × 中山 和彦 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

開催
日時

2016年6月3日(金)
15:30-17:30 (開場▶15:00)

会場

アパホテル&リゾート
東京ベイ幕張 L会場(ホール3・4・5)

HP (<http://www.congre.co.jp/jspn112/contents/lecture.html>) より事前参加申込フォーマット(word)をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上、下記運営事務局までメール添付またはFAXにてご送付ください。

申込み
方法

運営
事務局

E-mail: jspn112-shimin@congre.co.jp
FAX: 03-5216-5552

応募
締切

2016年5月25日(水)
※定員になり次第終了とさせていただきます。

お問い合わせ先

第112回日本精神神経学会学術総会 運営事務局 株式会社コングレ内 〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6F
TEL: 03-5216-5318 FAX: 03-5216-5552 E-mail: jspn112-shimin@congre.co.jp